



昭和59年度 晴れの受章者

昭和59年4月29日 勲五等双光旭日章



北陸通信工業株式会社
社長 辰川申治氏

永年、通信機器の販売、保守業に従事し、北陸電話設備協同組合理事長として業界の指導育成に努め、公衆電気通信の発展に寄与した。

協同組合 金沢問屋センター

第29号 1984年6月発行
協同組合 金沢問屋センター
発行者 小川 甚次郎
金沢市問屋町2丁目
電話 37-8585



金沢流通会館竣工にあたり

協同組合金沢問屋センター理事長
小川 甚次郎

金沢流通会館完成にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。去る、昭和55年完成15周年記念事業として、計画を立ててから満4年、組合員の総意を結集して、より近代的、合理的な機能と設備を求めて建設を進めてきました。

この間、石川県、金沢市をはじめ、関係各位の一方ならぬ暖かいご指導、ご支援を賜わり、無事に完成しました。心からお礼を申し上げます。

近時、一般消費者のニーズは個性化・多様化し、これに素速く対応するには、私達卸売業も情報の蒐集と提供機能の強化をはかり、顧客である各種小売業の皆様への配送機能の合理化を実現しなければなりません。

新会館におきましては、このような目標を確実に実行するため、大・小展示場、教育研修室など秀れた近代的機能を備えた施設を整えました。これは同時に金沢をコンベンション・シティにとの要請を先取りしたものといえ、地域社会への貢献も果し得るものと自負しております。

内外の経済情勢はもとより、私達卸売業界にとり、まことに困難な時期を迎えている今日、敢えて新しい流通会館を建設・完成をみたのを好機に北陸流通業界の中心としてより一層の繁栄と発展を期するものであります。

金沢流通会館竣工記念式典及披露パーティー

昨年3月から建設が進められていた金沢流通会館が完成し、去る4月21日同会館一階大ホール・パルスで完成記念行事が行なわれた。

午前9時30分からの竣工式に引き続き、11時より関係者、来賓約400人が出席して竣工記念式典が開かれ、ファンファーレ及び団地の女子社員20人による「金沢問屋センターの歌」で始まった。小川理事長が「卸売業界を取りまく環境は厳しいが、21世紀

に向かって一層の研鑽に励み、北陸流通業界の中心として繁栄と発展を期して前進していきたい」と式辞を述べ、安田隆明参議院議員、中西陽一石川県知事、江川昇金沢市長、宮太郎金沢商工会議所会頭ら来賓が祝辞を述べた。

正午からのパーティーでは三廊合同による素囃子が披露され、歓談の場に花を添えていた。



きものファッションコンサート

金沢流通会館の完成を記念して、4月23日～24日の両日、会館大ホール・パルスにおいてじゅらく帯新作発表会のきものファッションコンサートが開かれた。

特別ゲスト磯村みどりの司会とモデル達の動きの中で、藤舎堆峰と藤舎呂悦の笛と鼓の音色をバックに、ブルーと黒の照明舞台を背景の中で、鶴の羽ばたきが聞こえてくるような格調高い古典の美、芸術の世界を乗り越えた静・動の世界、そして日本人の心の中に生きているわび、さびの世界といった有名作家によるシリーズの紹介にはじまり、文字の代りに絵でイメージを描き、今にも消えてしまいそうな女らしさを描いたロマンチズムの世界が伝えられ、永い伝統に磨かれた、日本の着物の代表加賀友禅と焼き物の持つ冷たさを着物にたくした九谷焼の世界そして女として、母として、女の貫禄を感じさせるような一番美しい色、黒を留袖と帯にたくし、心と

愛がこめられている世界、磯村みどり自身がメキシコに旅をした時の思い出などがかたられた。又ひとときの優雅さ、豪華さを花嫁衣裳に染めあげた着物、旅先で見たもの、ふと心をとめたものを丸くおさめ、女のお守りになって幸せになって欲しいと、そっと帯におさめてみた「ごてんまり」。青春の思い出、夢を岡本太郎のダイナミックな動きで、个性的に着てみる楽しさ等々……。フィナーレには春の着物はさわやかな春の風に、夏の着物はさんさんと輝く夏の太陽の下で、秋の着物はロマンチックな枯葉の音の中で、アイディアと工夫をこらして、おしゃれに着て欲しいと結び、モデル全員が舞台上に並び、華やかなショーを終えた。

当日は同時に各参加商社や、会館二階小ホールではじゅらく帯特別販売大会が催され、活発な商談が展開された。

